

浜大水産高校「同窓会」



〒697-0051
浜田市瀬戸ヶ島町25-3
Tel 0855-22-3098
Fax 0855-23-4811
E-mail
hamasui-o1@shimanet.ed.jp
http://www.shimanet.jp/hamasui/

会長挨拶

浜水会 会長 山崎 晃

会員の皆様におかれましては、全国各地で日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、母校及び同窓会「浜水会」の発展のため物心両面のご高配をいただき厚く御礼を申し上げます。

私は、平成20年9月に第4代目の会長に就任しました。就任に当たり4つの目標を立てました。そのうち①会員名簿の発行（平成21年12月発行）②広島支部の再度の設立（平成21年7月総会開催）③同窓会会報「翠香」の発行（平成23年7月発行）を実現してきました。浜水会総会の単独開催がのこる一つの課題となっています。現況は3年に一度役員会とともに総会を開催するような状況となっております。多くの会員の皆様に参加いただけるような環境を作り、毎年総会が開催できるように努力したいと思っております。

母校を取りまく状況は、少子化の影響による生徒の定員確保が最大の課題となっています。そのような中で、昨年に続いて1月28日石中央文化ホールにて第4回「水産業の担い手育成事業」実践発表会が開催されました。昨年のノドグロふりかけ・カレイバーガー・魚醤・フリーズドライ塩辛の4つの水産製品に続いてぶりソーセージ・海鮮丼・どんちっちアジ・ぶり缶詰・お魚ドーナツ等の新商品開発の発表がありました。それぞれ地元企業や松江市や大社町の水産企業が商品化を検討中であつたり実際に動きだしているという発表を聞き大変感激いたしました。また、全国高校総文祭（岩手県石巻市）に出場した郷土芸能神楽同好会が、「塵倫」を演じ発表会に花を添えてくれました。

昨年は、部活動の活躍が目立ちました。弓道部男子・カッター部・神楽同好会が全国大会に出場しました。浜田市から62万円の助成金を頂きましたが、資金不足のため浜水会総会で提案採決し、8月中に160万円の募金活動を行い学校に助成しました。

今春の卒業生の進路先は、浜田市内への就職率が82%と聞いております。漁業後継者は、浜田あけぼの水産3名、吉勝漁業3名、裕丸漁業1名の7名で、海に就職する生徒がいることは嬉しい限りです。

終わりに、浜大水産高校の益々の発展と会員皆様のご多幸とご健康を祈念いたしますと共に浜水会の発展のため一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

平成23年度をふりかえり

校長 秋好 和則

会員のみなさまには、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。はじめに、浜水会並びに後援会様より、学校活動募金を賜るなど教育活動の推進に絶大なるご支援を戴き、感謝申し上げます。

この度、同窓会事務局のお世話により、同窓会誌「翠香」の発行をとおして本校の一年間の概況をお伝えすることになりました。

東日本大震災・福島原発事故発生直後から今年度は始まりました。被災地では尊い命、産業基盤や生活の拠点が失われました。復興に向けた道のりは険しく、原発事故はエネルギー政策転換への警鐘ともなっています。学校教育に於いても防災対策・防災教育への対応が急がれています。

本校でも二学期以降、竣工から38年が経過した体育館の耐震工事が始まりました。体育の授業や一部の部活動は学校外の施設で行うこととなり、さらに、「水高祭」は中止、体育祭の開催日変更など大幅な行事変更を行いました。そして、リニューアルされた体育館での卒業式で、本科生59名、専攻科生6名を社会へと送り出しました。

本校の学校教育目標の一つに「水産・海洋の専門的知識と技術を身につけ、社会に貢献できる人間を育成する」と定めています。水産業を基幹産業とする浜田市になくてはならない水産高校として、地域の担い手を育てる建学の精神を生かす視点からです。この目標に従い、地域と連携し、企業訪問や職場実習、県内外へのイベントへの参加や新商品の開発など、実践的な学習活動を年間を通して計画的に展開しました。その取り組みは、「高校生が考える地域水産業の活性化・地域貢献」として農林水産省主催の「第9回オーライ!ニッポン大賞」で審査委員長賞を受賞、さらに「食と地域の「絆」づくり」優良事例にも選定され、本校の取り組みが全国で高く評価される成果となりました。

また今年度は、プリを使用した新商品を開発し、その商品の商標権を取得しました。県下の高校で初めての成果で、他の専門高校に取得への道筋を示す事にもなりました。

就職難の時代にあつて本校は10月には就職希望者の全員の進路が決定し、学んだ専門性を生かした11名を含め80%を超える生徒が市内・県内に就職し地域を支える人材となりました。

最後に、放送部が平和記念展示資料館（総務省委託機関）主催の「平和記念ビデオ制作コンクール2011」に出品していたビデオ作品「語られざる戦い」が最優秀賞を受賞し全国トップの栄に輝きました。1939年5月に起こった旧満州とモンゴル国境をめぐるノモンハン事件に焦点をあて、参戦された90歳を超える郷土出身兵士へのインタビュー証言を交え、永久に埋もれてはならない史実に向き合った作品が全国コンクールで最高の評価を受けました。

以上、学校の次年度に向けての決意も新たに概況報告といたします。今後とも、本校に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

浜水会 総会

平成23年7月31日（日）浜水会総会を本校において開催しました。山崎会長以下29名の参加でした。広島支部からも島田支部

長、田中副支部長に参加いただきありがとうございました。

議 題

平成22年度事業報告・決算報告、平成23年度事業計画・予算審議
東日本大震災について、全国大会出場支援について、翠香について

東日本大震災について

4月15日ハガキにより北海道、青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、埼玉、千葉、東京の在住者105名について安否確認、被災状況の調査を行った。その結果と被災者への支援について報告した。

全国大会支援について

平成23年度は生徒が良く頑張り全国大会への出場権を獲得した。そのぶん派遣費用の捻出に苦慮しているとの申し入れが同窓会にあり、対応を協議した。派遣日が近づいており急を要すこともあったので、総会参加者を中心に寄付を募ることとした。

翠香について

7月31日 12号を発行することができた。これからは毎年3月末の発行を行う。

広島支部総会

平成23年7月9日（土） 午後6時から9時
場所：ホテルセンチュリー（駅南口）

浜田から山崎会長、中村副会長、秋好校長、長田事務局が参加しました。総会に引き続いて懇親会があり懐かしい皆様と懇談することができました。

関西浜水会総会

平成23年10月30日（日） 11時から
場所：ニューオーサカホテル（新幹線口）

関西地区会員26名、山崎会長、田中広島副支部長、秋好校長、樋口名誉会員の出席をえて第17回総会が開催されました。

全国生徒研究発表大会出場

全国生徒研究発表大会（新潟・12月）に出場する生徒が、県知事に活動方向をし

ました。研究発表は、海洋技術科の生徒3名が「費用と人手をかけず収入源となるワカメ養殖への取り組み」を紹介したもので、7月に行われた日本海南部地区の研究発表大会で最優秀賞を受賞し、全国大会出場が決まりました。

県知事へ活動報告

平成23年 11月11日（金）



平成24年1月28日（土）石中央文化ホールで「水産業の担い手育成事業」実践発表会を行いました。発表は、①ブリソーセージ、海鮮丼開発②ブリチキン缶詰、アジくん製缶詰③お魚ドーナツ④販売 PR 活動の取組⑤沿岸漁業の養殖研究の取組⑥フリー配偶体によるワカメ養殖でした。この事業は、漁業・水産加工工業等の地域産業に従事する職業人を育成するため学校と漁業・水産加工会社・行政が協働し地元水産業の担い手となる人材を育成するため行っているものです。



平和祈念ビデオ制作審査

浜田水産高放送部

最優秀賞に輝く



平和祈念ビデオ制作コンクール最優秀賞に輝いた
浜田水産高校放送部の部長と、佐々木玲子教諭
（右）＝浜田市内

平成24年2月、高校生対象に平和祈念展示資料館が開いた平和祈念ビデオ制作コンクールで放送部の「語られざる戦い」が最優秀賞を受賞しました。この作品は、モンゴルと旧満州国の国境をめぐる争いで日本と旧ソ連が武力衝突したノモンハン事件を取り上げたものです。参戦した浜田市の90台男性へのインタビューや毎年開催される語り継ぐ会取材し10分間の映像にまとめ、綿密な取材やぶれない作品テーマが高く評価されました。螺山部長は「語られなかった事件があったことを伝えたかった」と話していました。

おめでとう!!

実学3巻

4月11日入学式を挙
行、海洋技術科32
名、食品流通科27
名、専攻科6名が入学しました。

**若鳥丸出航**

海洋技術科2年生が「若鳥丸」
で航海実習に。25日間で長崎、
那覇、高知、神戸、高松に寄港

**高校総体終了**

**男女総合 (Bグループ)
第3位 (得点28点)
敢闘賞 受賞**

**おめでとう!!
弓道部 団体優勝
ハンドボール部 第3位**



6月30日、1年生が神海丸に体
験乗船し船内の見学や操
舵を体験しました。

神海丸体験乗船**アゴ 刺し網実習
海洋技術科1年**

6月中旬、海洋技術科1年生が初め
て漁業実習に行きました。
船酔いでダウンする生徒もいまし
ましたが教室とは違う生徒の一面も見れま
した。はじめみる珍しい魚もいてこれ
からが水産人としてのスタートになり
ます。

校内球技大会 6/29開催

**男子優勝
食品流通科2年**

**女子優勝
食品流通科1年**

**学年別活動 特集**

7月4日～8日にかけて学年別活動をしました。一年生は海洋訓練、2
年生はインターンシップ、3年生は就職・進学試験対策をしました。

1学年・海洋訓練

お世話になった企業



長浜で記念撮影

猛暑の中で全員が力を合わせてカッターを漕ぎました。ました。

2学年・インターンシップ

お世話になった企業

しまね海洋館アクアス クボタ牛乳 シーライフ 一番街
ゆうひパーク浜田 山本蒲鉾店 江木蒲鉾店 大磯
中村水産 石見食品 山本一枝商店 マルハマ食品
ジュンテンドー ダックス浅井店 服部タイヨー

ありがとうございました

3学年・進路対策指導

面接ガイダンス



就職セミナー

この数年、厳しさを増すばかりの就職戦線、求人数が県外を中心と
して激減しました。県内企業はハローワーク等のご尽力もあり増加しまし
たが全体では昨年比3割減となり生徒は真剣に就職活動に取り組んでいま
した。今年は特に面接指導を充実させるため外部講師を招聘して、指導
の回数を増やしました。同時に、基礎学力の充実に図るため夏休みや放課
後の補習を増やしました。

体育祭

体育館耐震工事などの影響で例年より
遅い10月23日に実施しました。3年生を
中心に水高生の熱い声援が響き渡った一
日でした。生憎の曇り空、前日の降雨で
グランド状況の悪い中応援に駆けつけて
いただいた後援会、同窓会、地域やPT
Aの皆様ありがとうございました。



準優勝の赤分団



綱引き



青分団のデコレーション

全国大会結果報告

弓道部 インターハイ出場



弓道部男子は37年ぶりにインターハイ（8月・盛岡）に出場。決勝トーナメントに進出しました。ベスト32の大健闘でした。

全国総文祭出場

“優良賞”

郷土芸能クラブは全国総文祭（7月・盛岡）で全国4位に相当する優良賞を受賞しました。



全国カッターレース大会出場

7月、大分で行われたカッターレース全国大会に出場。健闘しましたが準々決勝で敗退しました。



力漕する浜水艇



カッター部員（女子6名含む）

浜田市長訪問

11月、食品流通科3年生が今年考案した漁醤アイスクリーム、ぶりソーセージ、お魚ドーナツ、ぶりの油漬けの新商品をもって浜田市長を訪問しました。



2学年・・・インターンシップ



11月 海洋技術科2年生で実施
お世話になった企業
しまね海洋館アクアス 真和漁業 ヤンマー船用システム 石原製作所 朝日製網 吉勝漁業

BB大鍋フェスティバルに参加しました



B級グルメブースでは昨年に続き大好評の「カレイバーガー」「塩辛ポテト」「魚醤アイス」を販売。市民の店では「塩辛」「たこくん」「いかくん」等の販売が好評でした。お買い上げありがとうございました。

一日だけの水高市場

紺屋町商店街



2月11日（日）今年も開催できました。おかげさまで大盛況でした。たくさんの地域の方々にご来店いただきありがとうございました。実習製品の販売ということで数に限りがあり購入できなかった方も多く申し訳ありませんでした。



たくさん売れました！！



新巻鮭を使った鮭鍋も好評でした。

浜田三中へ出前授業

11月24日(木)、25日(金)

水産

高校の魅力を地元の中学生に知ってもらうために、出前授業を実施しました。

海洋技術科3年生海洋コースの12名が講師を務め、浜田三中の2年生（109名）にロープの結び方やロープを使った円形マットのい作り方を指導しました。



浜田市新商品提案会

12月3日(土)



食品流通科3年生が地元の水産物を使って開発した新商品の提案発表会を行いました。水産加工業者や市民約60人に試食をしていただきました。今回、提案した商品は次の6点です。

- | | | |
|-----------|----------|--------|
| ① ブリソーセージ | ② 塩辛ポテト | ③ ブリ缶詰 |
| ④ アジ油漬け缶詰 | ⑤ お魚ドーナツ | ⑥ 海鮮丼 |

校内ロードレース大会

耐寒！！



1月15日（日）学校創立以来の伝統行事である耐寒ロードレース大会を実施しました。同窓の皆さんには松原町から外の浦町への往復コースがお馴染みかと思いますが、交通事情もあり今はマリン大橋を渡り原井町を走るコースに変更して実施しています。

レース後は、PTA の協力を得て豚汁の炊出しで体を温めます。



島根ふるさとフェア

in 広島

1月21日・22日

広島グリーンアリーナをメイン会場に今年も「島根ふるさとフェア」が開催されました。県内各地からたくさんの出店があるなか本校も生徒たちが作った自習製品を持って販売に行きました。アジ・のどぐろの一夜干しを中心とした実習製品の他に、3年生が開発した「お魚ドーナツ」、昨年販売して好評だった「塩辛ポテト」も販売しました。「昨年買っておいしかったので今年も来たよ」といわれる方もおられました。実習でつくった蒲鉾を細かく刻んで生地練りこんだ「お魚ドーナツ」は子供から大人までとてもおいしいと評判でした。



卒業生と進路状況（人数）

学 科	コース	在籍数	就職		進学	
			県 内	県 外	県 内	県 外
海洋技術	海洋	12	8	0	3	1
	機関	17	10	2	4	1
食品流通	※	30 (24)	16 (14)	5 (3)	0	8 (6)
合 計	※	59 (24)	34 (14)	7 (3)	7	10 (6)

その他 1名 (1)

(女子数)

図1 就職・進学比率

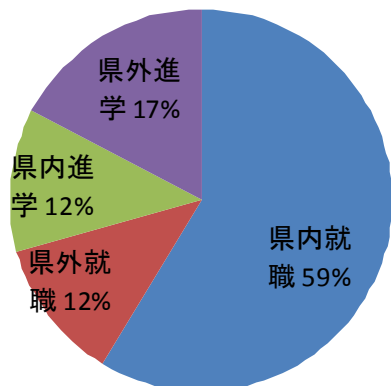


図1は、就職と進学の比率で7割が就職3割が進学となりました。県内進学7名の内6名は本校専攻科に進学します。

地域別就職者数（人数）

浜田・江津	33
松江	1
広島	3
関西	4

地域別進学者数（人数）

浜田・江津	7
広島	6
山口	1
岡山	1
関西	2

図2 就職者の地元定着率

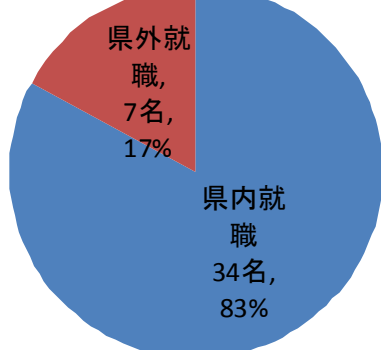


図2は、地元企業への就職割合で就職者のうち83%が地元企業の担い手として活躍することになりました。若者が地元定住しないといわれていますが、本校卒業生の場合、多くが地元に残ります。その割合は石見地区の高校では特に高い割合となっています。

図3は、海洋技術科の産業別就職者の状況で、7名が地元の漁船に乗船します。これほど地元漁業に就くのは全国でも稀で定着してくれればと願うばかりです。

海洋技術科の就職先です。

県内

吉勝漁業 裕丸漁業
浜田あけぼの水産
島根県合板 毛利組
服部タイヨー
ハナオカ工務店
ジンザイスチール
イーグルハイキャスト
デルタ・シー・アンド・エス 福島石油

県外

IHIマリンユナイテッド呉三和ドック

図3 海洋技術科 産業別就職

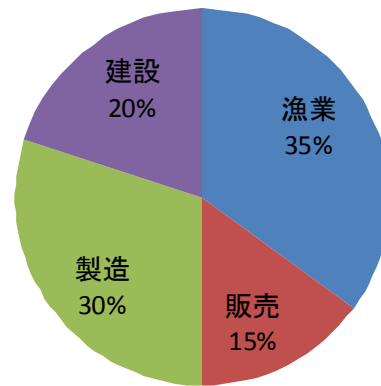


図4は、食品流通科の産業別就職者の状況です。専門性を生かして5名が食品製造業につきます。

食品流通科の就職先です。

県内

マルハマ食品 石見食品
大磯 浜田工業
デルタ・シー・アンド・エス 高村 水澄み会
シンカー 岩本ダイス
ハニーズ あさひ園
美又国民保養センター

県外

山崎製パン リオン美容室
コスモ石油 日昇館 OMDキャリアネット

図4 食品流通科 産業別就職

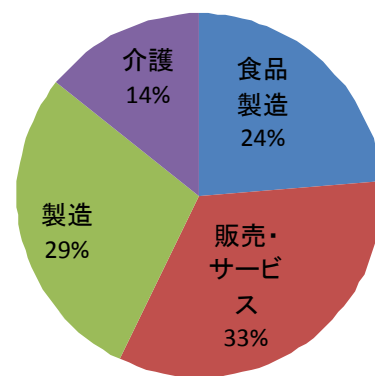


図5 専攻科 就職先

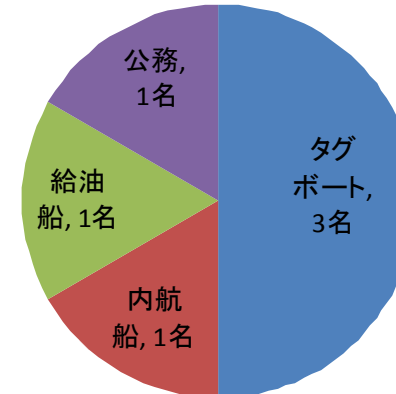


図5は、専攻科生の進路先です。

就職先は、
ダイトーコーポレーション（東京湾）
内海曳船（瀬戸内海）
神原ロジステックス（沿岸タグ）
岩崎汽船（内航タンカー）
福井県警警備艇（若狭湾・機関士）
ハゼヤマ石油給油船（浜田）
に決まりました。

進学先は、県内では本校専攻科、県外では福山大学海洋生物学科、美作短大栄養学科、広島市医師会看護、代々木アニメーション、広島美容、大阪ビューティー、神戸ロイヤルグルーミングなどとなっています。

在校生の資格取得者数（延べ数）

平成24年3月末現在

資格・検定名	数	数
三級海技士（航海）	4	潜水士 3
三級海技士（機関）	3	水産・海洋技術検定 5
四級海技士（航海）筆記	6	食品技能検定（1類） 76
四級海技士（機関）筆記	7	食品技能検定（2類） 25
一級小型船舶操縦士	32	食品技能検定（3類） 11
危険物取扱者（乙種一類）	5	HACCP基本技能検定 27
危険物取扱者（乙種二類）	4	食物調理技術検定 40
危険物取扱者（乙種三類）	3	ワープロ技能検定（1・準1級） 1
危険物取扱者（乙種四類）	23	ワープロ技能検定（2・準2級） 18
危険物取扱者（乙種五類）	4	ワープロ技能検定（3・4級） 130
危険物取扱者（乙種六類）	4	簿記検定（日商4級） 76
危険物取扱者（丙種）	116	実用英語技能検定（3級） 3
ガス溶接技能講習	30	漢字検定（準2級） 0
アーク溶接等業務特別講習証	38	漢字検定（3級） 2
2級ボイラ技士	5	日本語検定（3級） 0
ボイラ実技講習修了者	3	日本語検定（準3級） 2
第3種冷凍機械	5	日本語検定（4級） 8
第1級海上特殊無線技士	30	日本語検定（準4級） 14